

① 補助対象系統の運行計画

運行区間			往復 系統長 (km)	運賃 (円)	運行回数 (A) (回/日)	走行キロ (B) (km/年)	輸送人員 (C) (人/年)
起点	経由地	終点					

[記載要領]

- 1 この書類は、補助金の交付を受けようとする系統ごとに、補助金の交付を受けようとする年度における運行計画を記載すること。
- 2 「往復系統長」は、小数点以下第1位までの数値（端数は四捨五入）を記載すること。
- 3 「運賃」は、起点から終点までの大人普通旅客運賃の額を記載すること。
- 4 「運行回数」は、1日における回数の1往復を1回として、1日当たりの回数を記載すること。
- 5 「走行キロ」は、年間の実車走行キロ数（1キロ未満の端数は四捨五入）を記載すること。
- 6 「輸送人員」は、運行計画に基づく年間の合計を整数で記載すること。

② 補助対象系統の概要

運行区間			運行開始日 (変更日)	運行車両	運行期間	運行回数	
起点	経由地	終点				終日	10時～16時
					期間：		
					平日： 日	平日： 回	平日： 回
					土曜： 日	土曜： 回	土曜： 回
					休日： 日	休日： 回	休日： 回
					その他： 日	その他： 回	その他： 回
					合計： 日		

[記載要領]

- この書類には、運行系統図を添付すること。添付する系統図には「図面番号」、「系統名」、「停留所の位置及び名称」、「運行経路」、「単独区間」のほか、運行目的を補足的に説明できる事項など参考となる事項を適宜記載すること。
- 「経由地」は、系統の運行経路の詳細を分かりやすく記載すること。
- 「運行開始日」は、当該系統の運行を開始した年月日を記載し、この補助金の交付を受けることとなった時以降に運行経路の変更を行った場合は、直近の変更年月日を（ ）内に記載すること。
- 「運行車両」は、当該系統の運行に用いる車両の種類を記載すること。
- 「運行期間」は、補助金の交付を受けようとする年度における当該系統の運行計画に基づいて記載し、通年で運行する場合は「通年」と、期間を限定して運行する場合は運行する期間を記載して、その運行日数を曜日区分ごとに記載すること。
- 「運行回数」は、1日における回数の1往復を1回として、運行期間中の曜日区分ごとの運行回数を記載し、終日の回数と10時～16時の時間帯における回数を記載すること。

(別紙2) 平成 年度大阪市旭区バス運行経費補助金 補助対象経費見込額算定表

(第1号様式添付書類)
別紙2

科 目		平成 年度 実績	備 考
		事業者実績	
		合計金額 (千円)	
運送費	人件費		
	燃料油脂費		
	車両修繕費		
	車両減価償却費		
	自動車リース料		
	自動車税		
	自動車重量税		
	任意保険		
	その他経費		
	小計		
一般管理費	人件費		
	その他経費		
	小計		
営業外費用	金融費用		
	その他経費		
	小計		
合計			
走行キロ (事業全体) (km)			

金額の詳細がわかる書類 (様式自由) を添付すること。

項目		金額 (単位：千円・税抜)
経常収益	営業収益	
	運送収入	
	運送雑収	
	営業外収益	
	(うち大阪市旭区バス運行経費補助金)	
	合計	
経常費用	営業費用	
	運送費	
	人件費	
	燃料油脂費	
	車両修繕費	
	車両減価償却費	
	自動車リース料	
	自動車税	
	自動車重量税	
	任意保険	
	その他経費	
	一般管理費	
	人件費	
	その他経費	
	営業外費用	
	金融費用	
	その他経費	
合計		